

映像デジタルコンテンツ評価システム に関する研究開発成果セミナー

「映像が生体に与える影響
安心・安全・健康な IT 社会に向けて」

開催のご案内

平成15年4月10日(木) 10:00~17:00
シャープ幕張ビル多目的ホール

社団法人 電子情報技術産業協会
財団法人 機械システム振興協会

(社)電子情報技術産業協会、(財)機械システム振興協会では、映像の生体影響に関する調査研究として、平成8年度より7年間にわたり、「3次元映像の生体影響総合評価システムの開発に関するフィジビリティスタディ」及び「映像デジタルコンテンツ評価システムの開発に関するフィジビリティスタディ」をテーマに調査研究・開発を推進して参りました。平成9年12月16日にテレビアニメを見た子供が光過敏性発作を起こすという事件を機に、映像の生体影響への関心が高まり、映像環境の変化が生体へ及ぼす影響の多様な角度での評価、不要な事故の未然防止策の必要性等、新しい時代の新しい対応が内外の社会的な要請の方向性となってまいりました。

このたび、当調査研究において得られた成果の報告にあたり、経済産業省、行政独立法人産業技術総合研究所のご後援をお願いし、4月10日(木)に「映像デジタルコンテンツ評価システムに関する研究開発成果セミナー」を開催いたします。

成果の報告は、本分野にご造詣の深い方々、調査研究開発をご担当された委員会の学識研究職の方々ほか、英国からも著名なハーディング教授(アストン大学)をお招きいたします。

安心できる安全な“映像やコンテンツ”が健康で豊かなIT社会を拓くために、広く関連分野の業界・機関をはじめ、多くの方々に絶好の機会ですので、ご案内を申し上げます。

* ご参加を希望される方は、参加要領により事務局までお申し込み下さい。

* 参加希望者が定員を超える場合は、先着順とさせていただきます。

- プログラム -

10:00 開会挨拶

財団法人機械システム振興協会 船津貞二郎理事

10:03 挨拶

経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課 課長補佐 小林 洋介殿

10:08 委員長挨拶

映像生体影響研究委員会 委員長

石川 哲先生（社団法人 北里研究所病院臨床環境医学センター センター長）

10:18 研究の目的及び経緯

映像生体影響研究委員会 主査

斎田真也先生（独立行政法人 産業技術総合研究所人間福祉医工学研究部門
研究部門長）

10:30 研究成果の報告（第一部）

「映像による視機能への影響測定と全身機能評価としての瞳孔」

鵜飼一彦先生（早稲田大学理工学部 教授）

「オプティカルフローに基づく運動酔いの心理物理学的計測システムの高度化と評価」

氏家弘裕先生（独立行政法人 産業技術総合研究所 主任研究員）

「映像酔いと映像の回転、横揺れ、移動とオプティカルフローに関する標準化項目の設定と臨床データの収集」

近江政雄先生（金沢工業大学人間情報システム研究所 教授）

「危険度自動評価システムの概念設計」

木竜 徹先生（新潟大学大学院 自然科学研究科 情報理工学専攻 教授）

「低年齢層を対象とした評価項目の設定と臨床データの収集」

宮尾益知先生（国立成育医療センター 発達心理科 医長）

二瓶健次先生（国立成育医療センター 神経科 医長）

12:00 - 昼食（弁当） -

13:00 研究成果の報告（第二部）

「視聴者の心理傾向スケーリングと生体影響の関係に関する標準化項目と臨床データの収集」

山家智之先生（東北大学 加齢医学研究所 病態計測制御研究分野 助教授）

「非侵襲小型連続血圧・心拍数測定解析装置の高度化と評価」

吉澤 誠先生（東北大学 情報シナジーセンター 先端情報技術研究部 教授）

「生体影響評価のための新しい血圧-心拍数解析手法 瞬時位相差 の利用 」

田中 明先生（東北大学 大学院工学研究科 電気・通信工学専攻システム制御
工学分野 助手）

「自律神経症状（眼精疲労、不定愁訴を含む）と映像要素に関する標準化項目の設定と臨床データの収集」

板東武彦先生（新潟大学 大学院 医歯学総合研究科 生体機能調節医学専攻 感覚統合医学講座 統合生理学分野 教授）

「感受性発作（PSE）と光点滅、幾何学模様、色の变化に関する評価項目の設定と臨床データの収集」

黒岩義之先生（横浜市立大学 医学部 神経内科 教授）

14:15 調査研究成果のまとめと今後の方向付け

映像生体影響研究委員会 主査

齋田真也先生（独立行政法人 産業技術総合研究所 人間福祉医工学研究部門 研究部門長）

14:35 - コーヒーブレイク -

15:00 特別講演

“Recent UK studies of Television Images and their effect on people with photosensitivity”

「英国におけるPSE研究と映像コンテンツの規制動向について」

Graham F. A. Harding, PhD (Aston University, UK)

16:00 パネルディスカッション

==光感受性発作で残された課題、今後の生体影響における課題==

司会 石川 哲先生（北里研究所病院臨床環境医学センター長）

パネラ Graham F. A. Harding, PhD (Aston University, UK)、

板東武彦先生(新潟大学 大学院 教授)、黒岩義之(横浜市立大 医学部 教授)、

河合直樹殿（NHK放送技術研究所 ヒューマンサイエンス 部長）、

鶴飼一彦先生（早稲田大学 理工学部 教授）

17:00 閉会

以上

参加費用（内容）について

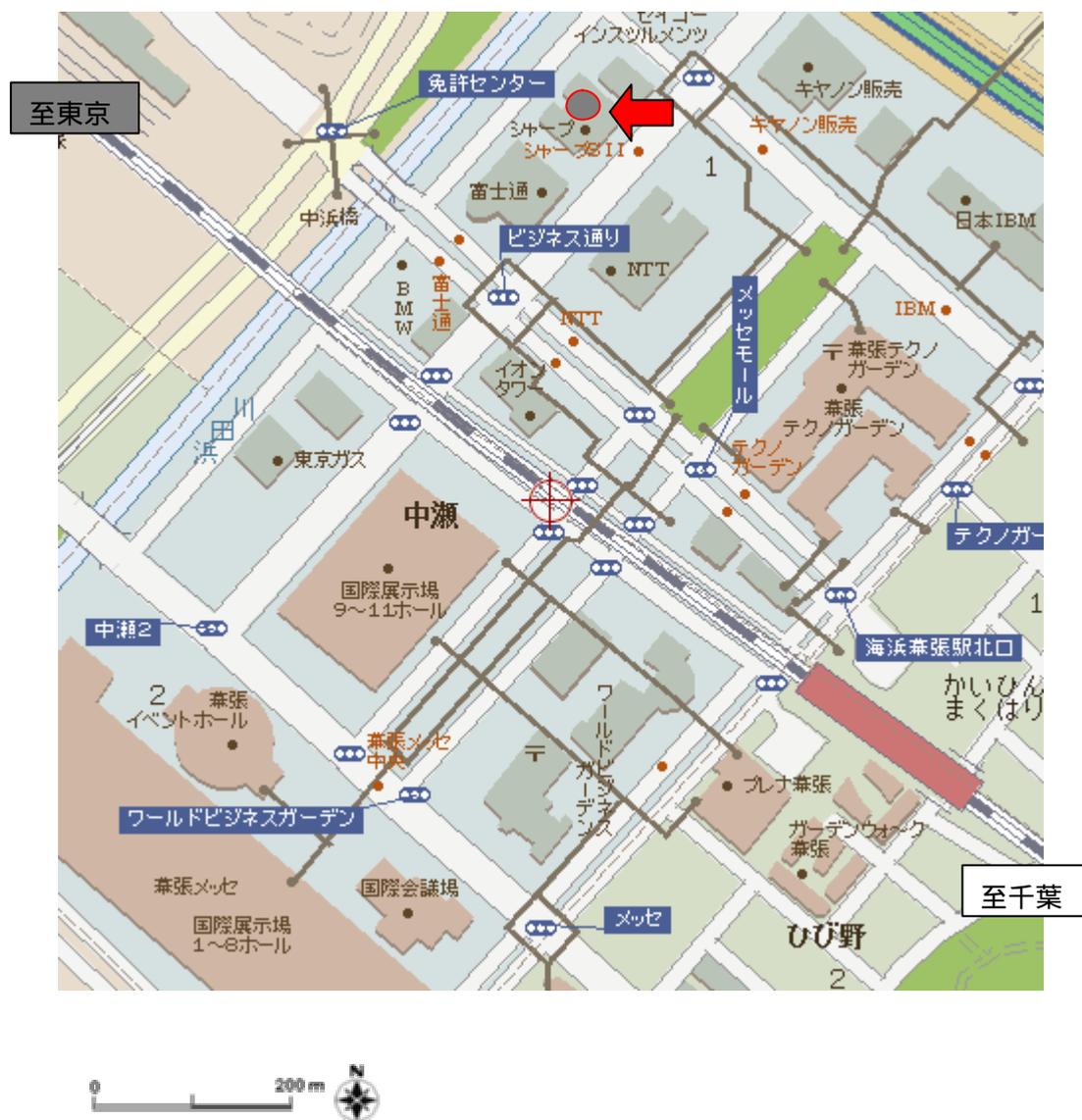
1. セミナー参加者1名の聴講費用、昼食代およびテキスト代金として
 - * 参加要領にも別途記載がありますのでご参照願います。
 - * 会場の諸事情から昼食時にお弁当を用意いたします。
2. 各講師の要旨資料をテキスト配布します。
3. 調査研究報告書の「概要」部分を抜粋配布致します。
 - * 事業成果報告書は、関係先配布等の限定部数のため事情ご理解願います。
4. 成果の一部として取り纏めたDVD（タイトル）「デジタル映像を安心して楽しめる未来へ」を参加者に特別に配布いたします。

以上

<http://www.sharp.co.jp/corporate/info/base/map/makuhari.html>

<http://map.yahoo.co.jp/pl?nl=35.38.50.330&el=140.2.29.576&la=1&fi=1&sc=3>

シャープ幕張ビル 千葉市美浜区中瀬 1 - 9 - 2



ACCESS

JR 京葉線 海浜幕張駅下車 徒歩 10 分(東京駅より快速 31 分)

JR 総武線 海浜本郷駅下車 京成バス 10 分(富士通前,バス停下車,徒歩 1 分)

「映像デジタルコンテンツ評価システムに関する研究開発成果 に関するセミナー」の参加要領

申込方法

受講料をお振り込みの上、別添「受講申込書」に振込書を貼付し、下記申込先宛にFAXにてお申し込み下さい。

申込書が不足の場合はコピーしてご使用下さい。

受講票送付のため、所在地等はハッキリと記入して下さい。

締切日間近の受講申込みは、申込状況を事務局にご確認の上、お振り込み下さい。

振込手数料は申込者にてご負担下さい。

銀行振込みの用紙を領収書とし、別に領収書は発行いたしませんのでご了承下さい。

受講料 大学・研究法人 6,000 円、会員会社 13,000 円、その他 16,000 円
各 1 名（消費税等を含む）

- * 受講料につきましては、ご事情で当日欠席されてもご返却はできませんのでご了承願います。
(後日、資料等を送付させていただきます。)

申込締切日 平成 15 年 4 月 7 日 (月)

定員 250 名に達し次第締め切らせていただきますので、ご了承下さい。

受講票の送付 受講申込者（代表者）宛に受講票を送付いたします。

開催日前までに届かない場合は、事務局宛お問い合わせ下さい。

受講票は当日、会場受付に各自提示し、資料を受領して下さい。

受講料の振込先 下記口座にお振り込みいただき、その「振込書」を「受講申込書」
に貼付の上、FAXにてお申し込み下さい。

受講料振込先（振込口座）

三井住友銀行 丸ノ内支店

口座名：「（社）電子情報技術産業協会映像成果セミナー」

(シャ)デンジ ヨウホクギジ ユツサンギ ヨウキョウカイレツ ケイカセミナー

口座番号：普通預金 9107113

申し込み、問い合わせ先（事務局）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 - 1 1 三井住友海上別館ビル 3F

（社）電子情報技術産業協会（JEITA）産業・社会シス部 阿部・福田

TEL (03) 3518 - 6429 FAX (03) 3295 - 8738

E-Mail y-abe@jeita.or.jp, t-fukuda@jeita.or.jp

URL= <http://www.jeita.or.jp/japanese/index.htm>

以上

「映像デジタルコンテンツ評価システム
に関する研究開発成果セミナー」受講申込書

フリガナ

いずれかに をつけて下さい

会社名 _____

(大学・研究法人、企業、その他)

事業所名

所在地 〒

電話番号 : _____ FAX番号 : _____

E-mail : _____

貴社が会員として所属する団体名 _____

注) 添付の主催、協賛(予定)団体へ入会の法人会員様を会員費用(企業)として申し受けます。

記入しないで下さい

| 所属・役職名 | (フリガナ) 受講者氏名 | 受付番号 |
|--------|-----------------|------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

注: 受講票は 印の方(代表)に送付いたします。

受付番号欄は当協会記入欄です。何も記入しないで下さい。

申込書が不足する場合はコピーしてご使用下さい。

(振込書貼付欄)

ここに振込書を貼付の上、FAXして下さい。

セミナー主催、後援、協賛団体（予定、申請中）

敬称略、順不同

主 催 社団法人 電子情報技術産業協会
 財団法人 機械システム振興協会

後 援 経済産業省
 独立行政法人 産業技術総合研究所

協 賛 財団法人 デジタルコンテンツ協会
(予定) 社団法人 コンピューターエンターテイメント協会
 社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会

財団法人 日本情報処理開発協会
社団法人 映像情報メディア学会
社団法人 電波産業会
社団法人 衛星放送協会
社団法人 B S デジタル放送推進協会
日本医療機器関連団体協議会
社団法人 日本画像医療システム工業会
日本眼科医療用機器協会
日本医用光学機器工業会
社団法人 日本映像ソフト協会
社団法人 日本民間放送連盟

以上